



〔海の状況 (3/16~4/15)〕

- ・小川地先の表面水温… 期間中は神子平年並み (平年差±0.5℃) ~はなはだ高め (平年差1.5℃~) で推移した。(図1)
※神子平年は、1988年~2017年の神子地先の平均値
- ・米ノ地先の表面水温… 3月中は概ね平年並み (平年差±0.5℃) ~平年よりやや低め (平年差-1.0℃~-0.5℃) の間で推移し、以降はやや低め (平年差-1.0℃~-0.5℃) ~はなはだ高め (平年差1.5℃~) で推移した。(図2)

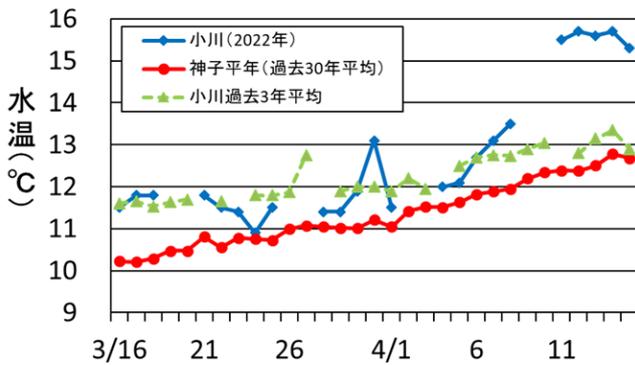


図1 若狭町小川地先における表面水温の推移

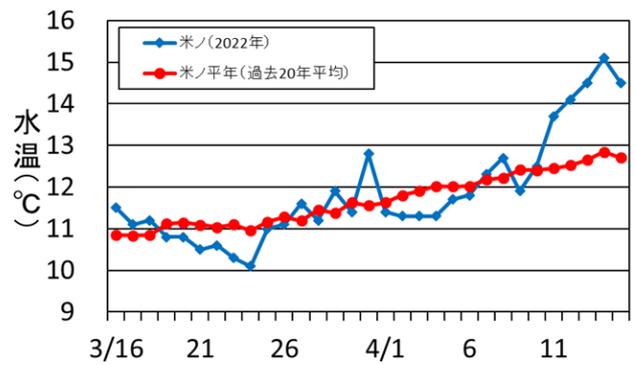


図2 越前町米ノ地先における表面水温の推移

※小川過去3年平均は2019年~2021年の小川地先の平均値であり、2年以上の水温データが揃った日のみ取り扱っている。

〔若狭湾および周辺海域の海況：3月〕

3月の若狭湾およびその周辺海域の水温分布は、表層(水深0 m)、水深50 m、水深100 mでは、若狭湾沿岸で10℃~12℃と前年より低くなっていた。水深200 mでは、若狭湾沖で4℃以下の規模が前年より小さかった。(図3)

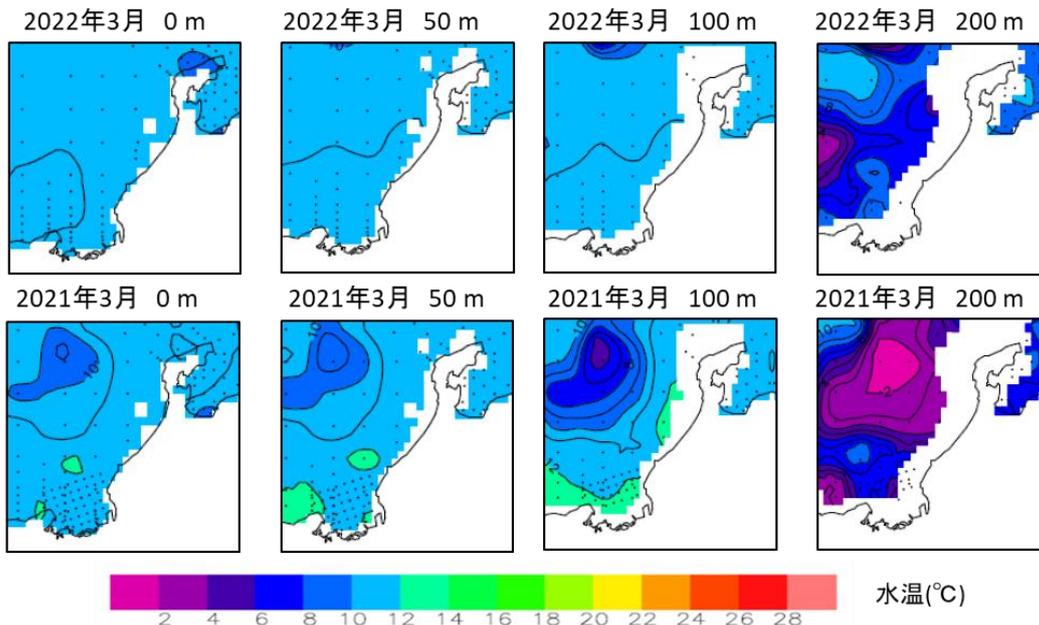


図3 若狭湾およびその周辺海域の水温分布図 (日本海区水産研究所の日本海漁場海況速報より抜粋)

(漁場環境グループ 岩崎 俊祐)

2022年度 第1回 日本海海況予報

国立研究開発法人 水産研究・教育機構より日本海海況予報（2022年4月中旬から6月）が発表されましたので、福井県周辺海域に関する情報を抜粋してご紹介します。

- ・山陰・若狭沖冷水域の張り出しは、やや小さく接岸距離は平年並みで経過する。
- ・対馬暖流域の表面水温は、“やや高め”で経過する。
- ・対馬暖流域の50 m深水温は、日本海西部および北部ともに“平年並み”で経過する。

この予報は、国立研究開発法人 水産研究・教育機構ホームページ (<http://www2.fra.go.jp/xq/>) から閲覧できます。（漁場環境グループ 岩崎俊祐）

〔県内の漁模様：3月〕

2022年3月の県内の総漁獲量は716 tで、前年同月を71 t上回った。

〔定置網〕

漁獲量は196 tで、前年同月を29 t下回った。サバ類は大きく下回ったが、マグロ類は大きく上回った。また、サワラは下回ったが、イワシ類は上回った。

〔底びき網〕

漁獲量は392 tで、前年同月を107 t上回った。アカガレイ、ホタルイカ、水ガニは大きく上回ったが、スズキは下回った。

〔釣り・その他〕

漁獲量は128 tで、前年同月を7 t下回った。キダイ、アマダイ、コウイカは下回ったが、マダイ、タコ類は上回った。

表 主要魚種の漁法別漁獲量(3月)

定置網	(kg)				
魚種名	2022年	2021年	平年	前年差	平年差
イワシ類計	123,210	106,358	43,081	16,851	80,128
アジ類計	2,626	3,729	8,652	-1,104	-6,027
サバ類計	949	40,733	5,899	-39,784	-4,950
マグロ類	19,037	8,932	2,629	10,106	16,409
ブリ類計	4,242	4,299	4,658	-57	-416
(ワラサ)	4,066	811	663	3,255	3,403
サワラ	36,949	45,189	46,673	-8,239	-9,724
タイ類計	490	285	361	205	129
スズキ	1,329	2,086	3,458	-757	-2,129
ヒラメ	94	398	172	-304	-78
カレイ類計	343	555	392	-213	-49
フグ類	339	325	929	14	-589
スルメイカ	4	178	1,517	-175	-1,513
ケンサキイカ	13	677	112	-664	-99
ヤリイカ	2,192	7,844	3,574	-5,652	-1,382
コウイカ	504	732	484	-229	20
タコ類	322	118	343	204	-21
その他	2,866	2,359	6,167	182	-2,420
合計	195,509	224,799	129,102	-29,290	66,407

底びき網	(kg)				
魚種名	2022年	2021年	平年	前年差	平年差
マダイ	2,217	2,108	1,212	110	1,006
キダイ	1,759	2,362	1,813	-604	-54
スズキ	2,325	8,349	4,700	-6,023	-2,375
ヒラメ	1,732	2,590	3,087	-857	-1,354
アカガレイ	119,005	54,610	165,365	64,396	-46,360
その他カレイ	45,714	48,319	42,607	-2,605	3,108
フグ類	4,046	2,795	1,160	1,251	2,886
アナゴ	1,905	2,165	3,245	-261	-1,341
ハタハタ	21,100	19,013	61,317	2,086	-40,217
メバル類	942	812	1,156	130	-214

底びき網の続き	(kg)				
魚種名	2022年	2021年	平年	前年差	平年差
ニギス	874	1,498	992	-625	-118
ホタルイカ	67,523	34,584	55,527	32,939	11,996
タコ類	3,410	3,275	4,105	135	-695
ズワイガニ	19,554	18,146	22,809	1,408	-3,255
水ガニ	55,861	33,888	30,856	21,973	25,005
アカエビ	18,935	13,650	12,230	5,285	6,705
その他エビ	3,786	5,531	4,928	-1,745	-1,142
その他	21,686	31,484	34,872	-7,881	-12,754
合計	392,373	285,180	451,979	107,193	-59,606

釣り、延縄、さし網、その他の漁法	(kg)				
魚種名	2022年	2021年	平年	前年差	平年差
マイワシ	2,052	699	2,337	1,353	-285
サバ	1,601	2,500	2,067	-899	-465
ブリ類計	2,478	2,789	7,003	-311	-4,525
マダイ	8,578	5,442	7,087	3,136	1,491
キダイ	2,054	6,873	7,349	-4,819	-5,295
アマダイ	1,076	3,849	3,355	-2,772	-2,279
ヒラメ	4,169	3,500	3,252	669	917
アカガレイ	2,889	1,559	2,088	1,330	801
その他カレイ	12,084	12,225	17,892	-141	-5,808
メバル類	6,532	6,444	9,372	88	-2,839
ヤリイカ	1,132	1,801	4,698	-669	-3,566
コウイカ	742	1,848	921	-1,106	-179
タコ類	6,937	4,307	6,587	2,631	350
その他	75,972	81,584	91,510	-6,975	-12,052
合計	128,297	135,420	165,519	-7,122	-37,221

全漁法	(kg)				
魚種名	2022年	2021年	平年	前年差	平年差
合計	716,180	645,399	746,600	70,781	-30,421

※1 平年の値は2012-2021年の10年平均です。 ※2 ()は銘柄、その他カレイはアカガレイ以外のカレイ類、その他エビはアカエビ以外のエビ類です。
 ※3 ズワイガニはオス・メス・水ガニに分けて集計しています。ズワイガニ漁獲量は集計方法の違いにより福井県底曳網漁業協会と異なる場合があります。
 ※4 ニギスの平年値は2015-2021年の7年平均です。 ※5 数値は小数点以下を四捨五入しています。

〔近隣府県の漁模様〕

（漁獲状況…石川県：3月の定置網1日あたりの漁獲量。京都府：3月にJF京都漁連舞鶴地方卸売市場へ水揚げされた定置網1日あたりの漁獲量。兵庫県：3月の余部定置網1日あたりの漁獲量。鳥取県：3月中旬～4月上旬のまき網1統あたりの漁獲量。）

石川県…定置網…マイワシ168.5 t、サバ7.5 t、スルメイカ4.6 t、カタクチイワシ2.2 t、マアジ2.1 t、ブリ1.0 t
 京都府…定置網…マイワシ20.3 t、サバ類13.7 t、カタクチイワシ5.7 t、サワラ類1.0 t、マアジ0.7 t
 兵庫県…定置網…アジ238 kg、マアジ119 kg、マグロ31 kg、ヤリイカ22 kg、スズキ17 kg、マサバ13 kg
 鳥取県…まき網…マイワシ116.1 t、マサバ5.1 t、マアジ3.1 t、ブリ類7.2 t、ウルメイワシ0.8 t

（漁場環境グループ 梶原 大郁）